

お 泉 水

1989年10月25日

■【武生・鯖江・今立】図書館広域サービスシステム

武生・鯖江・今立の図書館では4月から広域サービスシステムの第1弾として〔広域貸出サービス〕を始めた。このサービスは、武生・鯖江・今立に住んでいる人は、どこの図書館でも本が借りられ、どこの図書館へ返却しても良いシステムである。3館の蔵書を合計すると25万冊になり地理的に図書館が近くなる人もあり、月曜、祝日以外の休館日が各館異なるため利用者はどこかの図書館を利用出来るなど多くのメリットがある。

広域サービスシステムは貸出しだけでなく、今後第2弾第3弾として、3館で資料収集の分担も検討し、互いの図書館の経済的負担を軽減しようという計画や、パソコン通信によるデータの活用等、これからが本領発揮といったところである。様々な問題が山積みされているが、ひとつひとつ着実に実現させて行きたいと考えている。

■福井地区大学図書館協議会研修会

加盟館の運営の発展と館員の教養の向上を図るため、8月22日、仁愛女子短期大学福井学舎図書館において、福井地区大学図書館協議会の研修会を開催した。

当日は午前中、武藤信雄氏(仁愛女子短期大学助教授)の「福井の文学と風土」という題の講演を聞き、午後は各館提出の以下の議題について研究討議を行った。

……「館報発行の現状」、「大学図書館の協力と公開」、「図書選定」、「郷土資料の収集方針」、「他大学紀要の保存方法・期間」、「視聴覚資料の選定」、「図書館利用の増加施策」……講演も参加者にとって資するところが多かったと思われるし、また、午後の研究討議は熱心な発言が相継ぎ、特に大学図書館間の協力については前向きな意見が多く出るなど、有意義な1日であった。

■平成元年度全国公共図書館研究集会

◇奉 仕 部 門

テーマ 新しい時代の図書館相互協力を考える

9月12日・13日の両日、群馬県前橋市で「新しい時代の図書館相互協力を考える」を研究テーマに平成元年度全国公共図書館奉仕部門研究集会が開催された。参加者は321名で、本県からは8名が出席した。

研究内容は「北見地域の広域図書館情報ネットワークシステム」「県立4館合同蔵書目録のもたらしたもの」「大学図書館と公共図書館の相互協力」「市町村立図書館から県立図書館に望むもの」について事例発表と研究協議が行われた。なお、記念講演は「新しい時代の図書館相互協力を考える」(前川恒雄氏・滋賀県立図書館長)であった。

平成2年度全国公共図書館奉仕部門研究集会は福井県で

の開催が決定している。期日・平成2年10月18日・19日の2日間。会場・福井市のフェニックスプラザ。参加費・1人2,500円。参加人員250名以上を予定している。研究集会の開催に当たり、各館の御協力をお願いする次第である。

◇整 理 部 門

テーマ 公共図書館における整理業務の変革とコンピュータ

10月5日・6日の両日、山口市で「公共図書館における整理業務の変革とコンピュータ」を研究テーマに、平成元年度全国公共図書館整理部門研究集会が開催された。参加者は279名で、本県からは6名が出席した。

研究内容は「栗東町立図書館における整理業務の現状」「小郡市立図書館におけるコンピュータ導入と現状」「広島市立図書館のコンピュータ・オンライン・システムの現状と課題」「整理業務の合理化と機械化」「J-B I S Cの現状と今後」について事例発表と研究討議が行われた。

なお、講演は「整理業務コンピュータ化の現状と今後」(鶴田真也氏・国立国会図書館整理課長)であった。

■東海北陸地区視聴覚ライブラリー研究協議会

テーマ 生涯学習の援助・促進を図るための視聴覚センター・ライブラリーの在り方について

8月22日・23日の両日、岡崎市で「生涯学習の援助・促進を図るための視聴覚センター・ライブラリーの在り方について」を研究テーマに平成元年度東海北陸地区視聴覚ライブラリー研究協議会が開催された。参加者は280名で、本県からは8名が出席した。

研究内容は「利用者の学習要求に応えるための視聴覚センター・ライブラリーの望ましい在り方」「学習効果を高めるための教材の開発と望ましい在り方」「生涯学習を援助・促進するための視聴覚センター・ライブラリーの望ましい利用方法と情報提供の在り方」について事例発表と研究討議が行われた。

なお、講演は「情報とニューメディア」(藤尾孝氏・松下電器産業株式会社技術本部ハイビジョン開発センター所長)で、情報の80%は見ることによって得ており、視覚による情報量は聴覚の1,000倍にも達すると語った。

■平成2年度研究集会および研修会(予定)

区 分	開催地	区 分	開催地
全 国 大 会	静岡県	児 童 奉 仕 分 科 会	鹿児島県
奉 仕 部 門	福井県	東 海 北 陸 地 区 公 共 図 書 館 研 究 集 会	石 川 県
整 理 部 門	長野県	日 本 図 書 館 協 会 地 方 講 習 会	福 井 県
参 考 事 務 分 科 会	岩手県		

新設図書館紹介

嶺南地域生涯学習の拠点

福井県立図書館若狭分館が開館

長寿世界一と言われ、人生80年社会を迎えた今日、我が国の社会は21世紀に向けて高度情報化・国際化・高齢化などの大きな潮流とともに大きく変貌しつつあります。こうした情勢の中で、県民の生涯学習に対する意欲はとみに高まってきており、生涯学習の拠点として図書館に寄せる期待と要望は非常に大きく、また、その内容は多岐にわたり、しかも高度で専門的になってきています。このように図書館の果たす役割はきわめて重要であります。

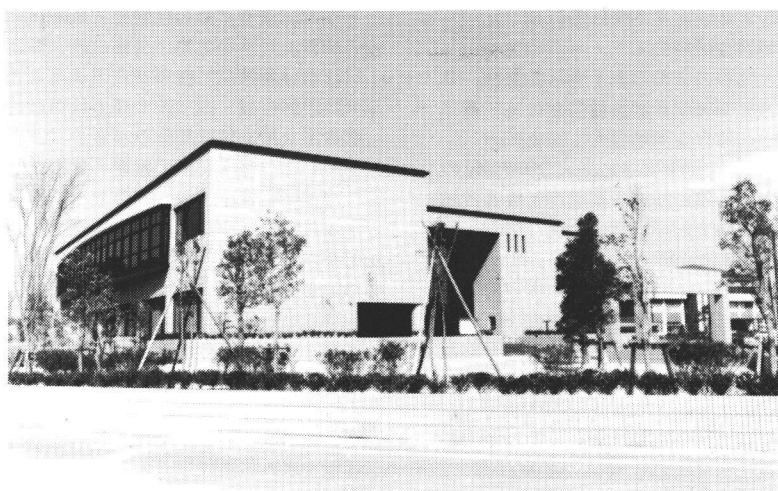
一方、県立図書館は全県民に等しくサービスを行うという使命をもっており、その使命を果たすためにいろいろな方策を講じサービスを行っていますが、それでも距離的に遠い嶺南地域の県民にとって等しくサービスを受けることはなかなか容易ではありません。そこで小浜市に分館を建設し、県立図書館との緊密な連携のもとに全県的な図書館ネットワークの形成を図るとともに、県民の生涯学習の拠点として、幼児からお年寄まで幅広く活用していただき、21世紀に飛躍する夢と希望に満ちたふるさとづくりに寄与しようとするものです。

・若狭分館の概要

建設地	小浜市南川町6番24号地
敷地面積	4,999.94㎡
建築面積	2,648.66㎡
延べ面積	4,793.56㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート2階建
着工	昭和62年12月10日
竣工	平成元年3月31日
開館	平成元年6月2日
総事業費	1,231,913,000円

平成元年6月1日に落成式を行い、翌2日から一般開館しました。若狭分館は1階が文化普及部門と管理部門で、

2階が図書館部門です。図書室はワンフロアで、一般資料コーナー（3万冊収容可、24席）、郷土資料コーナー（5千冊収容可、12席）、新聞雑誌コーナー（新聞11種・雑誌160種、12席）、こどもコーナー（5千冊収容可、32席）、読書コーナー（64席）、目録コーナー（書名目録・著者名目録・分類目録）で構成され、利用者用機器として、マイクロフィルムリーダープリンター1台、マイクロフィルムリーダー2台、カラー拡大読書器1台を備えています。その他に11万冊を収容できる書庫があり、図書室の4万冊と合わせて15万冊が収容できます。これらの設備の中、開館時約2万6千冊の蔵書でスタートしました。今年度は約1万冊の図書の購入と、関係各方面に寄贈依頼した資料で



逐次整備を図っていきたいと考えています。1階はゆったりとしたエントランスホール、多目的ホール、講堂、研修室、ブース3台を備えるビデオルーム、事務室などで構成され、特に多目的ホールは、生涯学習の場、創作発表の場として、地域文化活動の中心となることを期待して設けられています。

・若狭分館と市町村の図書館

市町村の図書館は、地域住民の求めに応じて資料提供を行います。そのため、日常生活と結びついたものやその地域特有のものなど、貸出しを中心とした資料の収集に重点をおきサービスを行います。県立図書館は、市町村の図書館と同様に住民に直接サービスをするとともに、市町村の図書館の求めに応じてそのサービスを支援します。そのためには、市町村の図書館では整備できない資料など多方面にわたる資料を収集し、その保存を図るとともに、関係各方面との相互協力体制を確立して全県下にサービスを行います。若狭分館は県立図書館と連携をとりながら、嶺南地区の中核的図書館としてこれらの機能を果たしていこうとするものです。（福井県立図書館若狭分館 出雲俊樹）

談 話 室

コンピュータ化の中で

福井大学では62年4月に新しいシステムを稼働させ、今は次の時代を模索しているところである。また最近大学図書館では「ネットワーク、インテリジェント化、公開」をキーワードに改革を目指す方向にあり、激動の時代の中にいることを感じる。しかしこのような流れの中にあってもサービスの現場では、先輩方が残してくれた立派な遺産があればこそ教育研究に役立つサービスを行い得ている現実を見ると、心から先輩方に感謝するしだいである。私も時代の流れを見定めながら、技術の進歩に追いついて行くと同時に、豊かな知識と心を築いて行きたいと思う。

(福井大学附属図書館 松井日出海)

図書館の夢を語る会について

先日、社南公民館の高橋さんという方から、福井市立第二図書館の建設に伴って、市民の立場から図書館をめざす「図書館の夢を語る会」を発足させたい由のお電話をいただいた。

中心のメンバーが同公民館で児童図書室を運営している方々であるせいか、私には大変熱意あるご意見を承ることが出来た。と同時に、図書館の窓口業務の在り方や高校の図書館の一般開放等々手厳しい提言に、共に語り合うというより、自己防衛本能が先立つのを禁じ得なかった。

今回は県外の図書館見学とのことである、会の発展を心より念じながら、会場を後にした。

(科学技術高等学校 大橋 紘一)

このごろ思うこと

「あれ、何だったっね。」最近よく会話の中ででてくる台詞である。物や事柄を頭の中では描いているのに出てくる言葉は「あの、それ…」ばかり。この淋しいこと情けないこと。手から砂が落ちるように記憶や知識などが、こぼれ落ちていく。「脳」が年を重ねるにつれて動きが鈍くなっていくようである。これは図書館にもあてはまることかもしれない。館と人がいっしょに年をとっていく。都合よく考えれば老成して重みを増すということになるのだが。よどんだ河のようになる前に少しでも止められるような心構え、新しい風を起す努力を惜しまないようにしたいと考える今日この頃である。

(鯖江市図書館 葛野 順子)

わたしのね・が・い

「この絵本はあの坊やに」「この本はあの奥さんに」移動図書館「あじさい号」が動き出して3年目。一週間に一度の夕方よりの発車に備え本の整理と選定、小脇に本をかかえ笑顔で集まってくる子供達、早くから車を待っていてくださるおじいさん等々の顔を思い浮かべ、1冊でも多く気に入った本を捜して頂けるよう考える楽しい一刻である。

あじさい号のおかげで、町民の方とお逢いし、お話しする機会も増え、本の選定の時も随分多くの方の顔が目に見えようになった。生涯学習の時代といわれる今日、もっともっと多くの方とお逢いし、希望される資料を提供出来たらと願っている。

(永平寺町立図書館 河合伊佐子)

小さなねがい

この11月、開館7年目を迎える私達の図書館。「南北に大きく連なる横山古墳群」「蓮如の里金津」といわれるこの土地の歴史と町民のニーズに応えるべく、2代目館長のもと職員心をひとつにして張り切っている。B4版の「こんにちは図書館です」は、毎月町の広報紙と共にすみずみまで配達され、たくさんの情報を紹介してくれている。南側の明るい窓辺には、新しい産院が出来、赤ちゃんを抱いた多くの若いお母さんを見るようになった。「早く大きくなってお母さんと一緒に絵本を選びにきてほしいなあ」と心から願っている今日この頃である。

(金津町立図書館 渡辺 弘子)

創立記念文集に接して

今、町内の読書会のひとつが、創立記念文集を発刊する話を進めている。文集の発刊はそれほどめずらしい事ではないのかもしれないが、町内読書会でははじめての試みであり、農村の婦人10名余りの仕事の合間を見ての作業は決して容易ではない。私もぜひ一役をと校正を手伝うため、原稿を手にした。

読書会に対する会員の25年にわたる並々ならぬ思いは、ともすると慣れと情性で仕事をしがちになる私に今一度新鮮な気持ちを吹き込んでくれた。

(織田町立図書館 水島 博之)

行事案内コーナー

10月下旬～
2年3月末日まで

▶福井大学附属図書館

☆平成元年度北信越地区国立大学図書館研修会 福井大学 10月26日(木)・27日(金)

▶福井県学校図書館協議会

☆第29回福井県学校図書館研究大会 湊小学校・光陽中学校・福井工業大学附属福井高校 11月10日(金) 主題「学校教育の創造に役立つ、学校図書館の機能を考える」ー自己教育力を育てる学校図書館をめざしてー 講演会 演題「読者層について」 講師 福井大学学長 嶋田正氏

▶福井市立図書館

☆紙芝居と絵本の読み聞かせ会 市立図書館 毎週(土)14:00～

▶敦賀市立図書館

☆第4回チャリティー古本市 市立図書館 11月4日(土)・5日(日) 10:00～16:00 ☆親と子の童話のつどい 市立図書館 11月下旬(公募による創作童話の発表会) ☆市読連合同読書会 市立図書館 平成2年2月 ☆おはなしと紙芝居の会 市立図書館 毎月第2(日) 10:30～

▶武生市立図書館

☆源氏物語と薫りの世界 市立図書館 10月20日(金)～12月末 ☆本とクリスマスの会 市立図書館 12月20日(金) [予定] ☆L.D名画鑑賞会 市立図書館 毎週(土)14:00～ ☆古文書を読む会 市立図書館 毎月第1・3(木) 19:00～ ☆越前ふみの会 市立図書館 毎月第2(木)19:00～ ☆ふるさと歴史の会 市立図書館 毎月第4(木) 19:00～

▶大野市図書館

☆いっしょに読もう会 市図書館 11月26日(日) [綱淵謙錠著「苔」]・12月14日(日) [ウェブスター著「あしながおじさん」]・1月28日(日) [黒柳朝著「チョロちゃんが行くわよ」] 3月4日(日) [津村節子著「遅咲きの梅」] [いづれも14:00～16:00] ☆映画会 市図書館 10月28日(土)・11月25日(土)14:00～ ☆こどものひろば 12月24日(日)10:00～12:00 詳細未定・3月25日(日)14:00～15:00 [影絵「モチモチの木」]

▶勝山市立図書館

☆第14回奥越合同読書大会 大野市・和泉村立図書館共催 勝山市教育福祉会館 11月11日(土)10:00～15:30 (テキスト 岡本かの子著「鮎」 講演会 演題「大地への恋」 講師 福井高専教授 前川幸雄氏) ☆勝山市合同読書会 勝山市教育福祉会館 3月上旬 詳細未定 ☆紙芝居と絵本の読み聞かせの会「おはなしでてこい」 勝山市教育福祉会館 11月3日(金)・11月4日(土)・12月16日(土) 以後毎月第4(土)14:00～15:00 ☆みんなあつまれ子どもランド“クリスマスのつどい” 勝山市教育福祉会館 12月25日(月)14:00

▶永平寺町立図書館

☆第2回読書感想文コンクール (10月30日(月)締め切り・11月20日(月)入選者発表) ☆夜間開館実施 11月上旬 (19

:30～21:00) ☆読書講座 町立図書館 11月中旬・平成2年2月中旬 ☆図書館協議会研修会 町立図書館 平成2年3月初旬

▶三国町立図書館

☆三国町読書大会 町立図書館 11月18日(土)14:00～ (講演会 演題「継体天皇と三国」 講師 福井工業大学教授 印牧邦雄氏・三国の未来についての優秀作文朗読発表等) ☆三国町合同読書大会 町立図書館 平成2年2月 詳細未定

▶中野重治文庫記念丸岡町民図書館

☆没後10年中野重治回顧展 町民図書館 11月3日(金)～5日(日)10:00～18:00 [4日は19:00まで] ☆町読連協文学散歩 三国町立図書館および町内 11月12日(日)9:00～ ☆クリスマスのつどい 町民図書館 12月中旬

▶坂井町立図書館

☆講座「子育てに読み聞かせを」 町立図書館 11月中旬(選択の目)・12月16日(土)14:00～(子どもとのふれあいの中で) 講師 谷出千代子氏 ☆古文書の会 町立図書館 毎月第2(日)・第4(木)13:30～ ☆子どもランド 毎月第4(土)14:00～(子ども向映画・ビデオ鑑賞会) ☆名作絵本・児童文学展 町立図書館 11月3日(金)・4日(土)10:00～16:00

▶河野村立図書館

☆読書会文学散歩 11月(滋賀県方面予定)

▶朝日町立図書館

☆朝日町読書感想文コンクール(平成2年1月20日(土)締め切り・3月上旬発表) ☆朝日町合同読書会 朝日町中央公民館 平成2年3月11日(日)予定 詳細未定

▶清水町立図書館

☆文化祭特別展 11月3日(金) ☆おはなしポケット 町立図書館 毎月第3(土)14:00～

▶三方町立図書館

☆星野富弘詩画展 10月27日(金)～11月9日(木) [予定] ☆クリスマス会 町立図書館 12月23日(土) ☆へき地巡回人形劇 平成2年1月および2月中 ☆郷土歴史教室 平成2年3月

▶美浜町立図書館

☆第2回ふれあい古本市 町立図書館 11月3日(金)～5日(日)10:00～16:00

▶福井県立図書館

☆現代日本文学の先駆者・高見順展 県立図書館 10月21日(土)～28日(土)10:00～16:00 ☆第43回読書週間記念大会 県立図書館 11月5日(日)13:20～15:00 (講演会 演題「女性史の窓から」 講師 作家 山崎朋子氏) ☆市町村立図書館職員実務講座 県立図書館若狭分館 12月6日(木)10:00～11:30 ☆福井県図書館関係職員研修会 県立図書館若狭分館 詳細未定 ☆子どもビデオ鑑賞会 県立図書館 毎月第2(土)14:00～15:30 ☆おはなし会 県立図書館 毎月第3・4(土)15:00～15:30